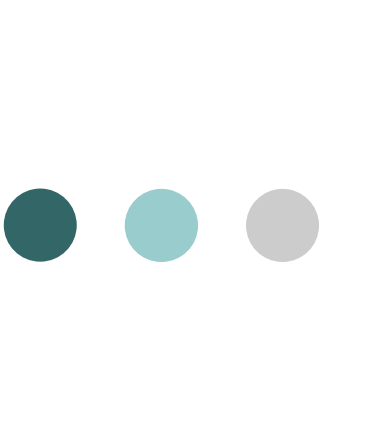


資料1



第3回訓練（個別要素訓練） について

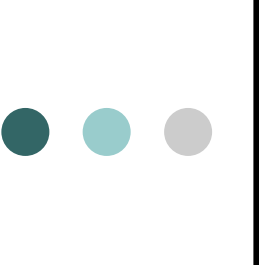
**平成19年3月12日（月）
食品安全委員会事務局**

実施スケジュール

年月日	区分	参加者	内容
H19.1.22 H19.2.1	訓練準備事務局会議	訓練事務局	訓練準備検討 シナリオ検討
H19.2.6	事前 オリエンテーション	訓練参加者	オリエンテーション①
H19.2.6	レクチャー	訓練参加者 食安委事務局	野村委員による講義
H19.2.6	訓練リハーサル	訓練事務局	リハーサル
H19.2.9	個別要素訓練	訓練参加者	オリエンテーション② 個別要素訓練 反省会
H19.2.20	総括会議	訓練参加者	訓練の総括

● ● ● | 第1回訓練において抽出された課題

- 利用可能、設置可能な会議の種類と対応範囲の確認（緊急対策本部を含む）
- 緊急時対応における事務局の体制の確認
- 情報提供体制と手順の確認
 - ー 国民へ
 - ー マスコミへ
 - ー 専門委員等へ



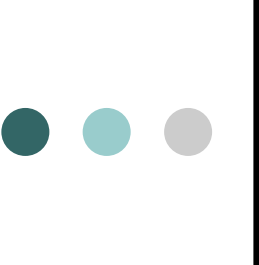
訓練の目的

**食中毒による被害が拡大化している中で、
食品安全委員会としてどのような情報発信を
するべきかを訓練する。**

①外部への発信能力の向上

②緊急時対応の実践能力の向上

**※ シナリオ (事前状況) 及び成果物の内容については議論、
指摘しないこと。**



訓練の目標

- **食品安全委員会が情報発信すべき緊急事態についての展開イメージを共有する**
- **緊急時の記者会見を模擬的に実施し、対応能力の向上を図る**

● ● ● | 訓練内容について

①情報提供についてのレクチャー (2月6日: 中会議室)

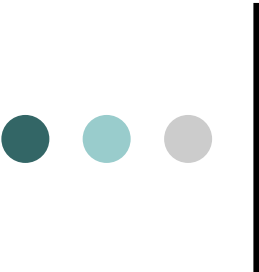
- 情報提供に関する知見についての野村食品安全委員会委員による講義

②情報提供のあり方についての検討 (2月9日: 大会議室)

- 委員・事務局会議メンバー (14名) での検討
委員長、委員、局長、次長、各課課長、リスコミ官、評価調整官、各課総括補佐
- 机上シミュレーション形式で、事前アンケートの結果を検討しながら、緊急時の情報提供等の対応について、共通認識を図った。

③模擬記者会見 (2月9日: 中会議室)

- 被害が拡大する中、委員長談話を発表し、委員長による記者会見を行う、という設定の模擬記者会見。
- 記者会見の進行・司会として勧告広報課長、委員長の補佐として情報・緊急時対応課長が対応。
- 模擬記者は(株)三菱総合研究所及び事務局職員が対応。



訓練参加者

区分	担当	人数
プレーヤー	委員会委員長、委員会委員2名、事務局長、事務局次長 各課課長、リスクコミュニケーション官、評価調整官、 各課総括補佐3名	14名
司会	委員会事務局員 (株)三菱総合研究所	2名 1名
コントローラー (模擬記者役)	委員会事務局員 (株)三菱総合研究所	2名 2名
訓練事務局 (進行補助)	委員会事務局員	2名
オブザーバー	緊急時対応専門調査会専門委員	7名
評価者	(株)三菱総合研究所	2名

訓練当日（2月9日）スケジュール

時 間	内 容	場 所	対象者
13:30～ 13:40	オリエンテーション	7階大会議室	全員
13:50～ 15:10	情報提供のあり方についての検討	7階大会議室	プレーヤー： 委員長・委員・局長・次長 各課課長・リスコミ官・評価調整官・ 各課総括補佐
15:10～ 15:20	休憩		中会議室へ移動
15:20～ 15:50	模擬記者会見	7階中会議室	プレーヤー： 委員長、情報・緊急時対応課長、 勧告広報課長 見学：委員・事務局会議メンバー 他
15:50～ 16:00	模擬記者会見の講評	7階大会議室	全員
16:00～ 16:30	反省会	7階大会議室	全員

第3回訓練シナリオ概要

内閣府食品安全委員会緊急時対応専門調査会第21回会合
訓練用:070209

	発生事象	地方自治体	厚生労働省	農林水産省	社会的反響 国民の関心
想定1 8月6日	A県の(株)Y社Wレストランで、 O157による食中毒が発生	A県の保健所 及び衛生部に おける対応	A県の状況把握		
想定2 8月11日	A県の(株)Y社Wレストランで、 O157による食中毒が2件発生 [A、B県] 件数 3件 有症者 69人 入院者数 9人 (HUS発症 3人) 死亡者数 1人 C県でO157 食中毒報告 [C、E県] 件数 2件 有症者 9人 入院者数 4人 (HUS発症 2人) 死亡者数 0人 E県でO157 食中毒報告	A、B、C、E県 の保健所および 衛生部における 対応	情報収集の強化 食品安全部、健康 局、地方厚生局と 連携して対応 ウェブページでの 情報提供を開始。	ウェブページでの 情報提供を開始。	新聞は社会面に 小さく掲載 TVは主な ニュースでのみ 状況報道
想定3 8月13日	(株)Y社Wレストランで使用 されたA野菜が原因食品の 可能性が高いことが示される。	他府県のWレストランでも O157による食中毒の発生 が続発。	厚生科学課、医薬食品局、健康局、 地方厚生局と自治体が連携して対応		新聞は社会面に 大きく掲載 TVは主な ニュースで報道 一部ワイドショー でとりあげる
	(株)Y社Wレストラン A野菜の使用中止。	複数県でO157食中毒 の発生が続発。	消費・安全局、地方農政局と自治体が 連携して対応		
想定4 8月14日	(株)Y社Wレストランの A野菜はC県(Z地域)の 契約農場で栽培された 野菜であることが判明	死者1名発生 (この時点で死者数2名)	地方厚生局・地方農政局職員をC県へ派遣		新聞は一面及び 社会面に大きく 掲載 TVは主な ニュースで報道 ワイドショーで 連日とりあげる
	原因としてB野菜が浮上 B野菜がC県(Z地域)で 栽培されたもので あることが判明 B野菜の出荷自粛		対策本部の設置 問い合わせ窓口 設置	対策本部の設置 問い合わせ窓口 設置	
想定5 8月19日	8月18日現在 18県で発生 有症者 1422名 入院者数 311名 (HUS発症 75名) 死亡者数 3名	残品A野菜・B野菜 からO157検出	現時点での 原因究明報告	厚生労働省、農林水産省、C県による合同対応 (原因究明)	ダイヤルや モニターの反響が 大きくなる
			厚生労働省、農林水産省、食品安全委員会 による合同対応(局長級会議の開催)	厚生労働省、農林水産省、食品安全委員会 による緊急対策本部の設置	A野菜・B野菜に 対する風評被害が 広がり始める